

授業科目名	とちぎ学 a	大学名	作新学院大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期 (9月15日～1月22日)
学部・学科等	経営学部・人間文化学部	曜日	未定
必修・選択区分	選択	時限 (時間)	未定
標準対象年次	1年生	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	学内講義室 (オンラインの場合あり)
担当教員名	西田 直樹		
電話番号 (代表者名)	028-667-7111 (作新学院大学)	e-mail アドレス	nishida@sakushin-u.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><b>&lt;授業の目標及びねらい&gt;</b>          栃木県の学生が、栃木県の歴史や文化、地理、産業、県民のライフスタイルなどについて学び、栃木県への理解を深めると同時に、栃木県で就職を希望する学生に社会人としてコミュニケーション能力の基盤をつくる。</p> <p><b>&lt;前提とする知識・経験&gt;</b>          特に受講の条件となる前提は無いが、小学校の3・4年生の社会科で地域学習を経験している事が望ましい。</p> <p><b>&lt;授業内容と具体的な進め方&gt;</b>          授業登録が決定した段階で、ワークブックを配布する。授業はワークブックにしたがって行き、予習もワークブックに書かれた指示にしたがって行う。</p> <p><b>&lt;授業計画&gt;</b>          第1週 作新学院大学の建学の精神について          第2週 栃木県の大学で学ぶ意味を考えよう          第3週 「名物」から考える地元の魅力          第4週 郷土史が生み出す地域のつながり          第5週 歴史でふりかえる栃木県 (古代～中世)          第6週 歴史でふりかえる栃木県 (江戸時代～明治維新)          第7週 歴史でふりかえる栃木県 (明治時代～現代)          第8週 知っておきたい宇都宮市のあゆみと未来          第9週 清原キャンパスタイムトリップ          第10週 荒井退造 (清原村出身) の人生と仕事観          第11週 沖縄県と栃木県を結ぶ荒井退造          第12週 就職活動の前に土地意見の産業について学ぶ          第13週 住環境から考える栃木県のライフスタイル          第14週 食生活から考える栃木県の農業          第15週 私が考える栃木県の未来 (協働・共生社会について考える)</p> <p><b>&lt;教科書・参考書・教材と入手方法&gt;</b>          ・教科書は、授業で配布するワークブックがテキストを兼ねる。          ・参考文献          ① 『絵葉書が映す 下野の明治・大正・昭和』 卯木伸男 随想舎</p> <p><b>&lt;成績評価法&gt;</b>          期末レポート、予習課題、授業への参加態度を総合的に判断して評価する。</p> <p><b>&lt;教員からのメッセージ&gt;</b>          大学生は社会人の一歩手前というポジションですから、地域の人々との関わりが、高校時代とは比べものにならないほど深くなります。この授業では、栃木県についての学習を通して、みなさんに地域での生活や活動に役立つ「コミュニケーション能力」を提供します。それは「聞くこと」「話すこと」にとどまらず、「積極的に話題を提供できる能力」を含めた「総合的なコミュニケーション能力」です。単なる物知りになるのではなく、学んだ知識を活かして地域の中で必要とされる人になって下さい。</p>		